

農村宿泊体験学習特集

9月26日～9月28日、2年生は熊本県小国町で農村宿泊体験学習を行いました。生徒たちは3～6人の班に分かれ、受け入れ農家のお宅に宿泊しました。自然いっぱいの環境で生活しながら、農作業などを体験させていただきました。

お店の棚に並んでいる野菜が、どのような手間暇をかけて作られているのを知り、星空や自然の美しさと力強さに感動し、農家の方々の優しさに触れた3日間でした。「熊中だより 14号・15号」では、農村宿泊体験学習特集として生徒作文（抜粋）を掲載します。

ぼくが農泊にいて感じたことは、仕事をするのが大変だということです。最初の仕事は、ビニールハウスのビニール張りでした。思った以上に体力を使うし、時間もかかりました。仕事が終わった夜、温泉に行ったあと、星を見に行きました。八幡西区ではあり得ないほどの星の量で、ほんとうに感動しました。流れ星もすぐ流れて、一生忘れられないほどの思い出になりました。帰ったあと、みんなでトランプの「大富豪」をしました。みんな夢中になっていて、気づけば9時から11時までしていました。急いで布団を敷き、みんなで寝ました。

次の日の仕事は、畑の肥料まきでした。牛ふんや鶏のふん、人のふんまで使って肥料にし、畑にまきました。仕事のあとに食事をして、またみんなで「大富豪」をしました。「日本一はずかしい温泉」にみんなで行き、はしゃぎまわっていました。

僕は農泊にいて、少しだけ成長したと思いました。受け入れ家庭のかよこさんと会えなくなるのは少しさびしかったけど、また会えたらいいなと思います。

2の1 田中公生

熊中だより

校長室通信
第 14 号

北九州市立熊西中学校
校長 安部朋恵



小国に行き、人の温かさや自然の良さ、すべてにありがたみを感じました。

里芋の収穫をして、自分たちで皮をむき、そこから夜ごはんとなりました。私たちが普通に食べていたご飯が食卓に上がるまでには、こんな苦労があるのかと思いました。そして、自分たちが収穫したので、いつもよりもとてもおいしかったです。

私がいちばん感動したのは星です。今まで見たことのない星の量で、言葉にできないくらいきれいでした。あの星は一生忘れることはありません。

お母さんのご飯も本当においしくて、ご飯が楽しみでした。お父さんはいつもおもしろくて、笑わせてくださいました。みんなともいろんな話ができて前よりも仲良くなれたと思うし、本当に帰りたくなかったです。

私は農泊で学んだことを、これからの学校生活に活かしていきたいです。そして、またみんなでお国へ行きたいです。

2の2 益吉 未来音